

生活習慣および運動ストレスと尿中 8-OHdG

研究
概要

生活習慣と尿中 8-OHdG との関連、運動ストレスと尿中 8-OHdG



食環境科学部 食環境科学科

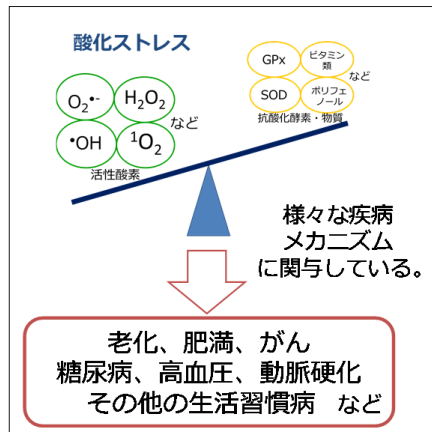
高橋 珠実 准教授 Tamami Takahashi

研究キーワード: 健康スポーツ科学 保健教育 発育発達と老化 ストレス

URL: <http://researchmap.jp/t.takahashi>

研究シーズの内容

活性酸素が過剰に存在している状態(活性酸素の生成と消去のバランスが崩れた状態)を酸化ストレスと呼びます。酸化ストレスが高くなると、生体の構造や機能を担っている核酸(DNA)、タンパク質、脂質を酸化して損傷を与え、構造や機能を障害します。DNA 損傷はさまざまな生活習慣病の発症・進展や老化に関与することが明らかにされていますが、尿中 8-OHdG は生体における DNA の酸化による損傷の程度、酸化ストレスの高低を反映する指標として注目されています。そこで、研究では生活習慣と尿中 8-OHdG との関連を調べ、どのような生活習慣が尿中 8-OHdG に影響を与えているのか検討することを目的とし、子どもから高齢者までの尿中 8-OHdG 検査および生活習慣アンケート調査を行っています。また、女性アスリートの生活習慣や運動ストレスと尿中 8-OHdG との関連等の検討も行い、アスリートのコンディショニングに関する研究も行っています。



活用例・産業界へのアピールポイント

健康教育分野、環境保健分野、スポーツ科学分野との連携が可能と思われる。

特記事項(関連する発表論文・特許名称・出願番号等)

なし